

第2回現場職員向け研修ダイジェスト

発行元：半田市 平成30年6月

- 講師：キャラバン隊ゆめこまち
- 日時：平成30年6月21日（木）10時00分～12時00分
- 場所：半田市役所 大会議室
- 内容：知的障がい・発達障がいのある方への支援のポイント
- 参加人数：61名



【キャラバン隊ゆめこま치의紹介】

半田市・武豊町を拠点として、発達障がいのある人の見え方、聞こえ方、感じ方を体験により、発達障がいを身近に感じれるよう公演活動を行っている団体です。

【発達障がいの体験】

発達障がいのある方がどのような感覚を持っているのかを理解するための体験を行いました。

① 聞こえ方や見え方の違いの体験

(1) 聞こえ方

複数人が同時に小さい声で話す内容を聞き取ります。一斉に声が聞こえるため、聞き取ることができません。

(2) 見え方

ペットボトルの穴を通して物を覗き込みます。視界が狭くなり、何を見ているのか分かりません。

② 感じ方や伝わり方の違いを体験

相手方は「ぺこりん」「ぼこりん」のみを話してきます。何を伝えたいのか理解できませんが、ジェスチャーや絵を見せてもらうことで理解することができます。

③ できないことを理解する体験

軍手の指先の半分まで手を入れた状態で服のボタンをとめます。指先が不自由になっているため、正確にボタンをとめることができません。

【発達障がいとは…？】

発達障がいとは、先天性の脳機能障がいがあり、乳児期に生じる発達の遅れのことをいいます。発達障がいに含まれるものとして、自閉症やアスペルガー症候群、学習障がい（LD）や注意欠陥多動性障がい（ADHD）などがあります。発達障がいの特徴は、周りの騒音も同時に耳に入ってしまうことや気になるものなどに目がいてしまい、周りがぼやけてしまうことや言葉の意味を理解することが難しいことなどが見られます。

【体験を通じて、対応ポイント】

- ① 聞こえ方や見え方の違いの体験
 - ・ ゆっくり、短く、目を見て話しをする
- ② 感じ方や伝わり方の違いを体験
 - ・ ジェスチャー・絵カード等を使用する
- ③ できないことを理解する体験
 - ・ 曖昧な表現はやめ、具体的に話す
(例) あと少し→×、あと5分→○
 - ・ 否定的ではなく、肯定的に伝える
 - ・ 当事者の立場になって、声掛けや手助けをする
 - ・ わかりやすいよう周りの環境を整える
(例) スケジュール、タイムタイマー、絵カード等

【第3回現場職員向け研修の案内】

- 開催日 平成30年7月8日（日）
15時20分～17時20分
 - 場所 半田市役所（4階 大会議室）
 - 内容 行動障がいのある方への支援のポイント
 - 講師 大田 優子氏 他
- ※受講者多数のため申し込みを締め切りました。

お問い合わせ先

半田市障がい者相談支援センター（青木・森）
TEL：0569-21-5585
半田市 地域福祉課（杉浦（郁）・杉浦（友））
TEL：0569-84-0643